

旭市新庁舎建設市民会議 会議録

日時：平成29年10月6日

午後1:30～午後3:40

場所：本庁舎3階委員会室

出席者

(委員)

林英光委員(会長・議長)、塙政美委員(副会長)、名取康雄委員、林正一郎委員、
平野忠作委員、高山和視委員、加瀬浩委員、戸井穰委員、飯嶋直子委員、遠藤依子委員、
向後充委員 以上11名
欠席5名(高橋渉委員、川上幸枝委員、新行内正巳委員、林修三委員、小関友紀子委員)

(事務局等)

市長：明智忠直、総務課長：飯島茂、総務課副課長：伊藤義一、
総務課新庁舎建設班長：穴澤昭和、総務課新庁舎建設班：高木正博
受注事業者：㈱横河建築設計事務所(新井敏裕、鈴木光洋)
：コクヨマーケティング㈱(森尾雅士、糸山嘉子)

【会議・開会】

(市長あいさつ)

先月の市民会議に引き続き、大変お忙しい中、お集まりいただき大変ありがとうございます。前回の市民会議におきましては、基本設計作成のための方向性ということでご説明をさせていただき、概ねご了解をいただきました。また、検討項目の建物配置と建築面積約5,000㎡についてもご承認をいただいたところであります。

本日は引き続きとなりますが、建築構造の免震や耐震、駐車場計画についてご協議をお願いしたいと思います。また、新たな項目として、動線計画や部署等の配置計画などについてもご検討をお願いしたいと思います。委員の皆さんには、どうぞ率直なご意見をいただきたいと思います。

合併から12年、統一された新庁舎を早急に建設し、安全・安心と共に、新しい時代のまちづくりの拠点として、そして文化の杜の一面をしめる庁舎としてのバランス感覚を充分に考慮して進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(林会長あいさつ)

前回会議の翌日に、改めて旭、東総地区をまわってきました。以前から良いと言われていた海上支所も見てきました。景色も素晴らしかったです。旭全体の風土から、九十九里、大地、樺の海というようなことから見直して、新庁舎を考えたいと思って見てきました。新庁舎の考え方とデザインの方向性ということで、皆さんと考え方の基本を共有して、

そういう方向性で、日本一のものを造ろうと思っていますので提案します。

文明は、たゆまぬ改善であり「改善とは機能的で優美であること」が大切で、これは新渡戸稲造が言った言葉です。公共物に人の求めるものは、安全安心の機能と同時に心の調和と美であり、これを忘れてしまう。美は自然の摂理や洗練された文化にあり、構造も機能も極めれば美になる。しっかりと構造や機能を徹底的に詰める必要があります。

新庁舎は従来の単なる箱物志向から脱皮し、旭地域の古代からの暮らしや風土伝統のDNAを、次世代に伝える新たな未来に相応しい建築とする。市民・近隣・全国・世界から注目され、親しまれる新たな思想の市庁舎を総合的視点で、旭らしい市民の誇りとシンボルとなるものを目指し、思想を重ねていきたいと思います。

建物は来訪者を迎えやすいかたちで、内装は働く者が働きやすい空間とする。生物的な考えで物事を考えないと、単なる箱物になってしまいます。外観は、我が国本来の白黒グレー自然素材色を基本とします。これは江戸時代に完成した日本の伝統的な建築の基本です。軒庇の深い、質素シンプルで、周囲の景観に調和する、先進的なモダンデザインで、風土と伝統と歴史を活かした市のシンボルであり、東総ランドマークになるようにしたいと思います。視覚的に派手なものではなく、例えばアサヒビールの屋根の上に黄色い雲のような物があります。誰が見てもすぐ解る。来訪者も市職員も、退屈しない変化に富んだ環境デザインの工夫で、夜間も美しく、外からも、内からも、光が溢れるライトアップを提案します。

内観は、階層ごと領域ごとに、伝統や素材や色彩、自然光、照明なので変化を持たせ、人の感覚に触れるところは、木質など心温まる自然素材で、魅力的に素材と色彩で空間構成し、変化ある環境で生き活きとした空間にする。ある東南アジアの工場の例ですが、社長のトイレよりも、社員達が使用するトイレを良くしてます。あの会社ってトイレが綺麗だよと人が集まりました。社員のモチベーションアップと人員確保につながっております。

地域の先人偉人、歴史的遺産、祭り、風習、風土を伝える場をしっかりと作っていきましょう。市庁舎と文化の杜全体が、渾然一体となると、徐々に市地域全体にその思想が公共建築や環境づくり、一般市民にも伝わり広がる。医療・農業・水産・工業・商業環境なども、平和な永住観光リゾート環境に変化する。ある記事で畜産農家の為に開発された臭気等を消す開発がヨーロッパで賞を取った事に対して、旭市が興味を持ってるという記事を見ました。そういうことに取り組もうという姿勢を示すことが大事です。

産業等の臭気・水質汚濁等も改善克服し、千葉県・東総のオアシスとして、五感満足度の高い、先進的環境推進都市、旭として高く評価され、市民の誇りも高まります。そして、旭市民共通の意識と目標が生まれると考えております。

現状の旭の都市景観は、中央病院も駅周辺も道の駅も、その他様々な事業全体に景観的なポリシーがなく、ちぐはぐでバラバラで、とても残念な状態であると思います。この度の市庁舎建設を好機と捉え、永住都市を目指して是非改善して行きたいと思っています。

(プロジェクター投影)

これは愛知県の地図で、浸水してしまうと予想される地域図です。旭市でも今後浸水してくる事を考えて想定しなければいけないです。そこまで考えているのと、考えていないとでは全然違います。建築の際は周辺の状況を理解したうえで進めることが大事です。これは三重県の展示会の様子ですが、なぜこのように赤ん坊から老人まで何に惹かれて、多くの人が訪れるのか。簡単な構造で生き物のように動く、自然で何のエネルギーも使わないものを展示しています。こういう日本的な感覚が、これからの建物や街づくりに必要になります。これは、ある道の駅です。すべて木材を使用しています。これからは木材の時代で、日本は木材が余っています。売り場は一見ごちゃごちゃしている様に見えますが、すっきりしていて、とても買い物がしやすいです。トイレにも木材が使用されていて、壁に地域の物語が描かれています。こういう感覚で市庁舎を造っていきたいと思っています。今まであるものは過去の物であり、これからのものは未来を考えて造っていきたい。こういうことを共有してご協力をいただきたい。これは夜景です。ライトアップされていて、すごく綺麗です。簡単な形でもって、庁舎もシンボルとなってほしいです。これは東京ミッドタウンです。広場ですが、人が真ん中に集まる造りとなっています。これも木材の所があります。こういう自然なものと同時に、空間も新しいものと古いものとに幅をもたせることで退屈しない。次ですが、グランドピアノを1階ロビーに置いています。これくらいの発想が必要ではないかと思います。車イスでも高齢者の方でも来やすい空間をつくることで、旭に行こうかとなります。ある工業団地の中の道路ですが、真ん中に木を植えて自然に森を作っています。これはある社屋ですが、白・黒・グレーを基調にした建物で日本の伝統色で素晴らしいです。これは大原幽学です。この環境は日本の精神が表れています。旭市には、こんな素晴らしいものがあり心が洗われます。旭市の庁舎に、農業・植物・花を表すものをどこかに盛り込んでみる事も良いと思います。これはスカイツリーです。前に仏像がありますが古いものとピタッと合っていて違和感がありません。古いものと新しいものとがマッチしています。

議長：議題(1)について事務局の説明を求める。

事務局：前回の9月21日の市民会議において、林会長から新庁舎に取り組む基本理念についてお話をいただきました。市民ロビーやランドマーク、大原幽学の精神の事など様々な意見がありました。今後そのような考えに、しっかり取り組んで庁舎建設を進めていきたいと思っています。

また、次の日になりますが、22日に議会へ同じく説明をさせていただきました。その中での意見として、華美なもの、立派なものは望まない。庁舎建設に関して維持管理費用、将来の人口減少を見据えて検討してほしい等の意見がありましたので報告をさせていただきます。

事務局：新庁舎建設「基本設計」の検討項目の建築構造についての説明。

議長：建築構造に関する質疑及び意見を求める。

委員：安心できるという点で、今後何十年間にわたり使う市庁舎としては、防災上の安全性からも免震構造の方が良いと思います。

委員：免震構造にした場合、耐震構造に比べてコストは何%くらい上がるのか。

事務局：一般的には構造躯体の約1割ほど上がると考えております。維持費に関しては、法令に定めている定期点検が約5年に1回必要になり、1回あたり約150万円かかります。それと大きな地震を受けた際にも、その都度点検が必要になります。

委員：免震装置を途中で交換することはあるのか。

事務局：免震ゴムの耐久性は、理論上60年は全く問題ないと言われております。建物の寿命を100年と考えますと、大きな地震を何度も受けなければ100年間は、およそ問題ないと考えており、取替えは必要ないと考えております。仮に取り替える場合は、1基あたり約1,000万円程度となります。

委員：新庁舎の免震ゴムの数は、10基くらいか。

事務局：数としては40～50基くらいになると考えます。

委員：取替えの時は、市庁舎の業務を行いながらできるのか。

事務局：業務は継続しながら行えます。ジャッキで地下から持ち上げて行います。

委員：旭中央病院の事例をもって、維持管理費がどれくらいかかるのか、コストがどれだけアップするかを示すのが1番解りやすいと思う。

事務局：中央病院も、耐震と免震を比較して最終的に免震を採用しましたが、全体の約1割弱くらいの4億5千万円くらいのアップになると思います。

委員：中央病院の事を詳しく説明してほしい。当時は、坪で約120～130万円くらいかかっていた。

事務局：中央病院の時と建築のコストの状況は違ってきております。

委員：当初、中国のオリンピックと重なっていたこともあり、中央病院は230億円程

度かかると想定していたが、結果は１８７億ぐらいであった。そういった事例を話してほしい。

委員：皆さんＡ案の免震構造の方が良いと思っている。ただ実際にいくら費用がかかるかを聞きたい。

事務局：最終的な計算はしていませんが、免震の関係につきましては、庁舎の建築面積を当初の３，０００㎡を５，０００㎡ということで、１階部分が広い方が市民の利便性が向上するというご意見をいただいたところであります。その結果として、当初予定していた２１４台の駐車台数が面積計算をした結果、難しかったという問題が１点ありました。一方では、免震構造にすることで、地下空間がダンパーの関係で一般的には２ｍほど空間ができます。その空間を利用し基礎を嵩上げすれば地下駐車場としても有効活用ができると思います。また防災シェルター的な活用もできると思われます。現時点では設計業者の方でも５億くらいのコストアップを見込んでいるとしております。ご理解をいただければと思っております。

委員：事例や資料を用意して解りやすく説明して欲しい。

事務局：この時点では詳しい資料がありません。次回は、しっかりとした中央病院の事例も含めて資料を用意してご理解を得たいと思います。

委員：道の駅との関係、議会からは質素な庁舎という意見がありました。庁舎はどういう位置づけか、商工観光との関係など、一番根底になる部分をお聞きしたい。

委員：２０年後には旭市の人口が５万人になる。庁舎の面積を６万７千の人口で造った場合は、無用の長物になるのではないかと。人口が減れば職員も居なくなる。ある程度そういう事も想定して設計してほしいというのが、議会としての主な意見です。

事務局：道の駅との関係ということで、議論が一番根本に返ってきているのかと思います。平成２９年４月に庁舎の基本計画を定めたうえで、具体的に基本設計・実施設計に持って行こうということです。庁舎でありますので行政機能の根幹であります。基本計画の中では、市民に開かれた庁舎等がありましたが、道の駅との関係等の議論は無かったと思います。市民に開かれた庁舎として、産業祭り等は行っても良いのかなと思います。庁舎の建設はあくまで市民の利便性、職員が一箇所に集まり業務効率の向上が目的だと思います。１０年、２０年後に人口減少に伴い職員が減少して空きスペースができた場合には、庁舎の利用方法等を今後検討していきたいと思っております。

議 長：建物の重要な根底は変えず、周りのやわらかい部分で道の駅等の関係を調整していく案だと思っています。

次の駐車場計画・動線計画について事務局の説明を求める。

事務局：駐車場計画・動線計画についての説明。

議 長：駐車場計画・動線計画に関する質疑及び意見を求める。

委 員：県道からの自動車出入口の幅員はどのくらいか。

事務局：県道から入りづらいので、コーナーを広げて入りやすいように考えております。

図面では、道幅は6 mで、プラス歩道が2 m位、緑地は1 m位です。ロータリーは8 m、対面通行ではない一方通行の場所は、道幅5.5 mです。

委 員：手前から調整レーンが必要になるのでは。

事務局：所轄の警察、県の土木事務所、市建設課等との協議は済んでおります。結果、拡幅等はいらないとの回答です。市としては、庁舎敷地内で出入りがしやすいように計画していきたいと考えております。

委 員：6 mでは狭いのでは。大型バス等が来るとなると7 mは必要ではないか。

事務局：庁舎正面の道路をもう少し拡幅するよう検討いたします。ロータリー部分は8 mを確保しております。

委 員：出入口が1箇所だと道路の渋滞が懸念されるのでは。他の場所からの出入りは可能か。

事務局：警察との協議によりますが、一般的には1敷地1箇所の出入口ということが多いです。協議しだいでは2箇所あってもよいかと思います。出入口を検討した中で、新庁舎の出入口と公園駐車場の出入口が近いと危険だろうという議論もあり、公園のメインプロムナードを横切り北側道路に抜けられるようにする事も検討しました。しかし、公園内の延長500 mのメインプロムナードは素晴らしい景観でありますので、車で横断することは無いほうが良いのではないかと考えています。緊急時には敷地南東側の部分等から緊急車輛は入れるようになっています。

議 長：緊急時だけでもプロムナードから抜けられるような措置が必要なのでは。

事務局：緊急時については、プロムナードから西側等に抜けることは可能です。

委員：一方通行にして庁舎への入口を2箇所にしたらどうか。

事務局：公園の出入りですが、協議した中で、色々な交差点とか十字路がある中で出入口は1箇所の方が安全であると1番最初にありました。それから考えたのが今の出入口です。もしもの場合は、周囲に公園が隣接していますので、公園の中のプロムナード等から物理的に道路に出ることは可能となっており、閉ざされて車の動きが取れなくなることは無いと考えております。

議長：次の部署等配置計画について事務局の説明を求める。

事務局：部署等配置計画についての説明。

議長：部署等配置計画に関する質疑及び意見を求める。

委員：1階の相談室の位置が公園側から丸見えではないか。また2階のハニカムへのアプローチは、エレベーターのキャパがあまり無いと思うので、ベビーカーの利用を考慮してスロープがあった方が良いのでは。

事務局：平面レイアウトに関しては、各課の配置を基本として示しています。まだ決定したわけではありませんので今後検討していきます。2階へのスロープに関しては、かなりのスペースを取ってしまいますので、現在のところ検討はしておりません。エレベーターは、3基を計画し、車イスに対応できるものを考えています。

委員：休日時の運用、例えばセキュリティの問題等はどのように考えているのか。

事務局：今後、セキュリティは検討していきます。現段階では、柱を利用してシャッター等を下ろして執務室を区切るなど、ロビー等は開放して利用できるように考えていきます。

議長：それらを考慮して今後進めていただきたい。

議長：ここで10分間休憩します。

議長：引き続き、次の災害対応設備について事務局の説明を求める。

事務局：災害対応設備についての説明。

議長：災害対策設備に関する質疑及び意見を求める。

委員：オイルタンクの設置場所は。また太陽光設備に蓄電システムはあるのか。浄化装置の金額は。

事務局：オイルタンクは、耐震性が必要であるため地下に設置します。地下駐車場の下から配管し供給する方式を考えております。太陽光設備の蓄電設備は、費用が相当かかり、メンテナンスも大変なので今のところ考えておりません。

浄化装置は、金額の幅が大きいです。簡易なものは数千円から、機械的になると100万円くらいします。学校では、一般的に数十万円の装置を置いているようです。浄化装置は備品対応となりますので今後、検討していきます。

委員：配管についての耐震性は大丈夫なのか。

事務局：配管は、他の災害対策病院等で使用されているような耐震性の高いものを使用するように考えております。

委員：非常用発電機の方式は。また中圧ガスの説明をもう少し詳しく聞きたい。

事務局：非常用発電機はディーゼル方式で、燃料については今後検討します。中圧ガスは、専用の耐震性の高い配管で設置されますので、災害時にもガスが止まりにくいのが特徴です。

委員：中圧ガスは、都市ガスかプロパンガスか。ガスは備蓄するのか。

事務局：中圧ガスは都市ガスになります。

委員：都市ガスの場合、災害時に必ず供給できるのか。

事務局：ガスは備蓄できないので、災害時には途絶える可能性はあります。ただし、中圧ガスは一般の引き込みに比べて耐震性が高いので、災害時にも止まりにくいと考えています。

委員：災害時に停電した時の復旧する順番は。

事務局：電力が途絶えた時は、まず発電機をまわして電力を確保します。ただ全てを確保できないため、重要な災害対策本部等の部分に送る電力を優先して確保します。

市 長：委員の皆さまにお聞きしたい。太陽光発電に関して、蓄電設備を備えるとメンテナンスも含めて費用がかかる。太陽光設備を設置するかどうかを検討していただきたい。

委 員：災害対策として、本部があるのだから設置すべきだと思います。

市 長：庁舎機能としてはあった方が良くと考えますが、蓄電装置の費用がどのくらいかかるか。

委 員：太陽光発電の40KWの発電量は庁舎全体のどのくらいか。

事務局：契約電力の想定が700KWで、その40KW分です。全体に必要な電力の4／70と考えております。

市 長：蓄電装置の金額はおよそどのくらいになるのか。

事務局：おそらく数千万円になりますが、次回調べてご説明いたします。

議 長：質問等を次回までに精査して下さい。

事務局：免震構造の費用についてご提示できなく申し訳ございませんでした。次回に事例をもって正確にご説明したいと考えております。本日もご提示した数字につきまして、一旦、取り下げさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。本日、お答えできなかった質疑に関しましては、次回ご説明いたします。

議 長：本日の会議を終了する。

【会議 閉会】